

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---|--|---|
| ○事業所名 | 療育サポートセンター クレア | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年1月10日 | ～ | 2025年3月20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 37 | (回答者数) | 30 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年1月10日 | ～ | 2025年3月20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 4 | (回答者数) | 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月20日 | | |
| ○分析結果 | | | |
| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
| 1 | ○先生と勉強で報告の時間を設けている | ○コミック会話やお話フォーマットを活用し、第三者に報告する習慣を教えている | ○報告の習慣をつけながら、課題解決の方法を自分で見出せるように支援する |
| 2 | ○特性の理解を基本にしている | ○日常的に継続してアセスメントを行っている ○セミナーやコンサルテーションで研鑽しています | ○ミーティング等で特性理解を深めていきます |
| 3 | ○個別化している | ○アセスメントから個別化したスケジュールやワークシステムを作成している ○自立課題も個別化している | ○先生と勉強の中で特性や芽生えている部分を観察し、記録していきます |
| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
| 1 | ○人材の不足 | ○よりよい人材を採用するための基準がある | ○人材コンサルテーション等専門家と協働している ○イベントを開催し、仕事の内容や良さを伝えていく |
| 2 | ○スペースが狭い ○階段が急 | ○物理的に決まっている | ○移転等も含めて中長期的に検討する |
| 3 | | | |

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 療育サポートセンター クレア | | | | | 公表日 | 年月日 令和7年3月31日 | | | |
|---------------------|----------------|---|-----|-------|-----|------------|---|--|----|--|
| | | | | | | 利用児童数 | 年月日 令和7年3月31日 | 回収数 | 30 | |
| チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 26 | 3 | 0 | 1 | ・活動場内をしっかりと見たことが無い。 | ・ビデオ撮影等を活用し、モニタリング面談等でお伝えする | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 27 | 3 | 0 | 0 | ・活動場内をしっかりと見たことが無い。 | ・ビデオ撮影等を活用し、モニタリング面談等でお伝えする | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 26 | 3 | 0 | 1 | ・構造化されているので、分かりやすいと思っています。 ・2Fまで階段が急だと思う。 | ・こどもさんの状況に合わせて、物理的構造化を整えていきます ・階段はスタッフが付き添います | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | ・本人に合わせた援助をされていると思います。 | ・今後も研修を受講してチームで研鑽していきます | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | ・面談をして作成してもらっています。 | ・今後もアセスメントを実施し、特性や芽生えている部分を観察記録していきます | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 29 | 1 | 0 | 0 | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | ・クリスマスなどのイベントも本人楽しみにしています。 | ・今後もこどもさんたちの意見を踏まえて計画していきます | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 15 | 5 | 5 | 5 | ・学校で健常児と接しています。 ・時々ある。 | ・弊社では構造化された環境で、一人ひとりに個別化された療育を提供することを重要視しています | | |
| 保護者への 説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 28 | 0 | 0 | 2 | ・思春期用も欲しい ・同世代の保護者と話したい | ・保護者会の内容をアンケート等で希望を確認し、計画していきます ・お茶会等企画検討します | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | ・何かトラブルなどおきたときに伝えると全職員に伝えて頂いています。 ・姉妹の相談は、たまにのっってもらっていた | ・今後もこどもさんや保護者様に今日kンしながら支援していきます | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 17 | 7 | 1 | 5 | ・思春期用も欲しい ・同世代の保護者と交流したい | ・性教育の保護者会の企画を検討します | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 29 | 0 | 0 | 1 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 非常 時等 の 対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 27 | 1 | 0 | 2 | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 27 | 1 | 0 | 2 | | | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 29 | 0 | 0 | 1 | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 26 | 0 | 0 | 4 | ・事故をおこしたことがないので分かりません。 | ・事故や怪我等は速やかに連絡し対応します ・ヒヤリははっとの記載を丁寧にいきます | | |
| 満足 度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 28 | 2 | 0 | 0 | ・1回/2週の頻度ですが、待ち望んでいます。 ・これから特性に配慮した療育を提供します。 ・自宅→クリアまで遠い事は気にしています。その他は楽しんでいるようです。 | ・遠方からの送迎ありがとうございます ・これからも特性に配慮した療育を提供します | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 30 | 0 | 0 | 0 | ・いつも専門的な支援をありがとうございます。 | ・今後も専門的な研修受講し、研鑽を重ねていきます | | |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 療育サポートセンター クレア | 公表日 | R7年3月31日 | | |
|--------------|---|-----|----------|--|---|
| チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 4 | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | | ・掃除を定期的実施している | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | | ・モニタリング面談をもっと丁寧に行いたい →業務内容を検討する →モニタリング前々月末から前月初旬に日程調整をする |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | 1 | ・プランニング会議を実施している ・スーパーバイズの担当を決めて実施している | ・人事考課がない |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | | ・コンサルテーションを実施している | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | | ・セミナー、コンサルテーション、プランニング会議、外部研修を受講している。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | | ・個別支援計画は保護者へ伝えている ・フレームワークを活用した自閉症支援を実施している | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | | ・継続した特性のアセスメントを行っている | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | ・個別支援計画会議を担当者等参加して行っている | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | | ・フレームワークを活用した自閉症支援を実施している | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | | ・関係先連携を意識している ・支援がうまくいかない時には、関係先と情報共有や支援会議を実施している | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | | ・生活シナリオを作成している ・活動の年間計画を作成している | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | | ・社会性のアセスメントを実施し、社会性に合わせて小集団活動を実施している | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | | | ・支援内容を互いに確認する時間を取っていなかったため、今後は設定する |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | | ・終礼を行っている | |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | | ・氷山モデルシートや経過記録、自立度チェックシート、ABC分析シートを活用している | |
| | 23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | | ・6カ月に一度、モニタリングを実施している | |
| | 24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 4 | | ・ワークシステムを活用し、具体的に余暇を教えている | |
| | 25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | | ・スケジュールの相談では、交渉しなから設定している | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | ・担当の支援者が参加している | |
| | 27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | | ・必要に応じて関係先連携を実施している | |
| | 28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | | ・送迎がないため、予定の共有などは行っていない。 ・保護者様を介して情報共有している ・支援会議等で情報共有を行っている | |
| | 29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | | | |
| | 30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | | ・必要に応じて特性シートや個人情報シートをお渡ししている | |
| | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | | ・中核的人材養成研修のトレーナー派遣 ・児童発達支援センターの療育等支援事業にてOT派遣を受けた | |
| | 32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | | ・事業所内での、特性を軸にした支援の提供を重視している | |
| | 33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | | | |
| | 34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | | ・連絡帳や引継ぎにて実施している | |
| | 35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | | | ・放課後等デイのご利用者様対象の保護者会を企画できていなかった。今後は実施したい |
| | 36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | | | |
| | 37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | | ・先生と勉強にて、本人の意思を聞き取る機会を設定している | |
| | 38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | | ・モニタリング面談にて説明している | |
| | 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | | | |
| | 40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | | | ・放課後等デイのご利用者様対象の保護者会を企画できていなかった。今後は実施したい |
| 保護者への説明等 | 41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | | ・今年度、苦情をいただくことはなかった | |
| | 42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | | ・クレア通信を発行している ・Facebookにてセミナーの告知をしている | |
| | 43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | | | |
| | 44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | | ・アセスメントを実施し、必要に応じて、PECSを活用している | |
| | 45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 4 | | | |
| | 46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | | ・避難訓練を実施した | |
| | 47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | | | |
| | 48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 4 | | | |
| | 49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | | ・指示書をもらっている利用者はいない。食べられないものを自己申告された場合は対応している | |
| | 50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | | | |
| 非常時の対応 | 51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | | | |
| | 52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 | 4 | | ・ヒヤリハット報告書は閲覧して周知を図っている | |
| | 53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | | | |
| | 54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4 | | ・身体拘束をしない前提で支援計画を作成している ・自傷等があった場合は無理に介入せず、環境調整を優先している | |